

		チェック項目	はい	どちらとも 言えない	いいえ	わからない	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	80%			20%	スペースに見合う定員で活動しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	70%			30%	法令で必要とされる配置数に加え必要、安全と思われる人員を確保しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	90%			10%	バリアフリーで車イスやパギーでも楽に室内移動できます。小上がりなど活動できる環境を工夫しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	80%		10%	10%	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	40%	10%	10%	40%	勤務の形態からスタッフ全員が揃う時間が少ないので、様々な方法で周知徹底を図るよう努めています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	80%			20%	保護者の方々に評価を行っていただき、集計。それを元に業務改善につなげています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	90%			10%	結果を保護者にお知らせするとともに、事業所内、こすもけあぐらぶのホームページ掲載に掲載しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	10%	10%		80%	スタッフから、しきみをよく把握しておらず外部評価がなされているか分からない、という意見がありましたので、良く説明して、今後「こすもけあぐらぶ」の意向に沿って検討していきたいと思えます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	60%	20%		20%	必要と思われる研修に積極的に参加して学んでいます。
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス、児童発達支援計画を作成しているか	60%			40%	計画期間毎のアセスメント、Drの指示書に基づき、課題を把握の上支援計画を作成しています。
	⑪	「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	50%			50%	それぞれのお子さんの課題にあった内容を設定しています。
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	80%			20%	計画に沿って行っています。
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	70%			30%	プログラミングは看護、保育、リハビリ、それぞれの計画を総合して行っています。
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	80%			20%	見直しを含め、工夫しています。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	80%	10%		10%	ニーズに合わせてバランスを考慮しながら立案しています。
	⑯	職員間で必ず打合せをし、支援の内容や役割分担の確認、支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	80%			20%	保育園、訪問看護、送迎等で職員が揃わないことが多く、難しいですが、担当する部署ごとに可能な限り確認、振り返りなど共有するよう努めています。
	⑰	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	80%			20%	ペーパーレスも含めて記録をきちんと残しています。
⑱	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	90%			10%	児童発達支援管理責任者を中心に保護者と話し合い、計画の見直しを行っています。	

関係機関や保護者との連携	⑱	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			0%	適切な職員が参加するようにしています。
	⑲	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	50%			50%	関係者と情報共有など行い連携しています。
	⑳	地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	60%			40%	連絡体制を整え、緊密に連携して支援しています。
	㉑	子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	70%			30%	医療機関、必要により主治医、とはいつでも連絡を取り合っています。
	㉒	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	40%	10%		50%	連絡体制を整え、緊密に連携、助言研修を受けています。
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%				送迎時や必要に応じて、利用者さんの状況、課題を必ず伝え共通理解がえられるよう努めています。
保護者への説明等	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	70%			30%	契約時丁寧に説明しています。また、保護者からの問い合わせがあればその都度説明するようにしています。
	㉕	児童発達支援ガイドラインの説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%				ガイドラインの要点を説明し、支援計画の同意を得ています。
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	80%			20%	送迎時や日頃から必要に応じて、利用者さんの状況、課題を伝え助言、支援を行っています
	㉗	父母・保護者会等必要と思うか。またその会の立ち上げに支援が必要と思うか	30%			70%	現在のところ保護者の方々から必要との声は聞かれませんが、今後要望があれば支援を検討します。
	㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	90%			10%	体制は整備しており、相談には迅速、適切に対応しています。
	㉙	おたより等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	70%			30%	必要な情報はおたよりにてお伝えしています。
	㉚	個人情報の取扱いに十分注意しているか	80%			20%	個人ファイル保管庫等整備して十分注意し、職員にも徹底しています。
非常時の対応	㉛	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	80%			20%	当事業所として最も配慮しなければならないことの一つと考えます。
	㉜	緊急時対応や、感染症対策について周知し、発生を想定しているか	80%			20%	
	㉝	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	30%	20%	30%	20%	一戸建て住宅の利点を活用し、避難・救出にあたります。
	㉞	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	90%			10%	指示書、面談などを通じて確認しています
	<p>◎この事業所における自己評価結果(公表)は、事業所全体で行った自己評価です。 ◎児童発達、放課後等デイサービスは事業所として同一の支援を行っているので、評価を一つにしました。</p>						

貴重なご意見をいただいています。原文のまま掲載いたします。

項目①ソーシャルディスタンスが保たれている。

④⑤安全な環境提供や職員の安全確保のための改善など工夫がなされていると思う。

⑧しつみを把握しておらず外部評価がなされているか分かりません。

⑩～⑫それぞれの専門性を生かして、活発な意見を出し合いながら利用者さんの思いや成長につなげるためのより良い支援を考えていっていると思います。時には家族に寄り添い、気持ちがつかなくなるようなこともあります。それらもスタッフ同士で話したりして、気持ちを共有したりできる環境がとても心強く、心地よいです。

⑬～⑭先日の救急対応(8月31日(月)、救急搬送)の内容を元に、改善点などがすぐに話し合わせ、対応方法など迅速な変化をもって支援にいかされていると思う。